

神奈川県菅田地区センター 令和3年度事業計画

1 施設の概要

施設名	横浜市菅田地区センター
所在地	神奈川県菅田町1718-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階 地上2階から3階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 1,777 m ²
開館日	平成11年7月3日

2 指定管理者

法人名	特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ
所在地	横浜市神奈川区幸ヶ谷4番地
代表者	関口 力
設立年月日	平成17年5月9日
指定期間	平成28年4月1日から令和4年3月31日まで

3 人員配置

項目	人数	備考
館長	1	
副館長	2	
コミュニティスタッフ	12	

4 事業計画

(1) 開館日数

345日

(2) 自主事業実施内容

指定管理者「指定申請書」のとおり

※ 事業の詳細は別紙参照

(3) 施設設備の維持管理

横浜市神菅田地区センター指定管理者仕様書および指定管理者(指定申請書)に準じて行い、一部委託により実施する。

(4) その他

「横浜市菅田地区センターの管理に関する基本協定書」に沿って実施する。

令和3年度 自主事業計画書

No.	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
					募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料 支出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室 講師謝金額 (円)	
1	乳幼児親子	かなちく子育て応援タイム	7月・9月・11月・2月	4	40	160	12,000	8,000	20,000	有	0~200	5,000	10,000	かなーちえ・しゅーくるーむ・菅田地域ケアプラザ共催
2	乳幼児親子	おはなしのはらっぱ	4月~3月	12	12	144	10,000	0	10,000	無	0	0	0	
3	小学生	夏休み自由研究応援講座	8月	1	15	15	6,500	10,500	17,000	有	700	7,000	7,000	
4	子ども	補助なし自転車に乗ろう!	11月	1	10	10	11,000	5,000	16,000	有	500	4,000	4,000	
5	小学生	子ども料理教室	5月・8月・10月・12月・2月	5	8	40	-3,000	48,000	45,000	有	1,200	5,000	25,000	
6	小学生	科学体験教室	7月・1月	2	20	40	14,000	20,000	34,000	有	500	5,000	10,000	
7	小学生	子ども卓球教室	8月・2月	10	15	150	25,000	75,000	100,000	有	500	5,000	50,000	
8	小学生	子どもドラム教室	4月~3月	24	10	240	80,000	480,000	560,000	有	1,000	15,000	360,000	
9	子ども	Kids Hip Hop(幼児クラス)	4月~3月	48	20	960	48,000	576,000	624,000	有	600	5,000	240,000	
10	子ども	Kids Hip Hop(小学生クラス)	4月~3月	48	20	960	0	672,000	672,000	有	700	5,000	240,000	
11	小学生	イブニング英会話(リトル)	4月~3月	24	12	288	34,800	172,800	207,600	有	600	5,000	120,000	
12	小学生	イブニング英会話(ジュニア)	4月~3月	24	12	288	-4,800	187,200	182,400	有	650	5,000	120,000	
13	子ども	英検対策講座	4月~3月	24	12	288	12,200	288,000	300,200	有	1,000	12,000	288,000	
14	成人	専門家に教わる健康講座	5月・7月・1月	3	35	105	10,000	0	10,000	無	0	0	0	菅田地域ケアプラザ共催
15	成人	地産地消料理教室 すげたキッチン	5月・7月・9月・12月・2月	5	8	40	18,000	72,000	90,000	有	1,800	6,000	30,000	
16	一般	砂田川親子こいのぼり祭り	5月	1	100	100	50,000	0	50,000	無	0	25,000	25,000	砂田川ファンクラブ共催
17	一般	0602イベント	6月	1	200	200	50,000	0	50,000	無	0	0	0	法人所管施設合同企画
18	一般	すげたふれあいまつり	7月	1	—	—	0	0	0	無	0	0	0	ニーズ対応費
19	一般	ハロウィンパーティー	10月	1	100	100	50,000	0	50,000	無	0	0	0	
20	一般	クリスマスパーティー	12月	1	150	150	60,000	0	60,000	無	0	10,000	40,000	
21	一般	七福館めぐり	3月	1	—	—	10,000	0	10,000	無	0	0	0	法人所管施設合同企画
22	一般	東京オリンピック・パラリンピック パブリックビューイング	7月~9月	30	—	—	20,000	0	20,000	無	0	0	0	
23	成人	包丁研ぎます!	11月	1	30	30	-4,500	15,000	10,500	有	500	0	0	
24	成人	絵手紙の年賀状	12月	1	20	20	6,000	20,000	26,000	有	1,000	6,000	6,000	
25	成人	片付け講座	12月	1	20	20	1,000	14,000	15,000	有	700	5,000	5,000	
26	成人	寄せ植え講座	6月・12月	2	18	36	-7,200	72,000	64,800	有	2,000	0	0	街なみ花物語
27	一般	おもちゃの病院	12月・3月	2	10	20	15,000	0	15,000	無	0	5,000	10,000	
28	成人	Lana先生の大人の英会話	4月~3月	24	16	384	-144,000	460,800	316,800	有	1,200	6,000	144,000	
29	成人	ウクレレ教室	4月~3月	24	10	240	2,000	192,000	194,000	有	800	6,000	144,000	
30	一般	折り紙教室	4月~3月	12	20	240	18,000	72,000	90,000	有	300	5,000	60,000	
		合計		338		5,268	400,000	3,460,300	3,860,300			152,000	1,938,000	

令和3年度 「菅田地区センター」 収支予算書兼決算書 (R3.4.1~R4.3.31)

収入の部 (税込、単位：円)

Table with 7 columns: 科目, 当初予算額 (A), 補正額 (B), 予算現額 (C=A+B), 決算額 (D), 差引 (C-D), 説明. Rows include 指定管理料, 利用料金収入, 自主事業収入, 雑入, 印刷代, 自動販売機手数料, 駐車場利用料金収入, その他, and 収入合計.

支出の部

Table with 7 columns: 科目, 当初予算額 (A), 補正額 (B), 予算現額 (C=A+B), 決算額 (D), 差引 (C-D), 説明. Rows include 人件費, 事務費, 事業費, 管理費, 公租公課, 事務経費, and 支出合計. Includes sub-rows for various expenses like 旅費, 消耗品費, 会議費, etc.

Summary table with 7 columns: 科目, 当初予算額 (A), 補正額 (B), 予算現額 (C=A+B), 決算額 (D), 差引 (C-D), 説明. Rows include 自主事業費収入, 自主事業費支出, 自主事業収支, 管理許可・目的外使用許可収入, 管理許可・目的外使用許可支出, 管理許可・目的外使用許可収支.

目標設定・自己評価合体版

令和3年度菅田地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2) イ 地域特性、地域ニーズ に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>■地域ニーズを踏まえた地域連携と新しい自主事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と絆を強めるイベント ・地域ケアプラザとの連携を強化し各種事業を推進 ・地域芸能大会やカラオケ発表会 ・神奈川県子育て支援拠点等との合同による子育て支援事業 			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>■「安全・安心で快適な空間の確保」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護と人権に配慮した運営 ・施設設備の適正な管理、事故防止 ・複合館での緊急事態対応訓練 <p>■「公平公正な管理運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーを基調とした仮予約制度の実施 ・地区センターだより、市広報等、各種媒体による情報提供 			
	<p>エ 利用者ニーズの把握と運営の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施 ・地区センター委員会、利用者会議の開催(2回) ・ご意見箱の設置 			
	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した備品、貸出品の更新により利用者サービスを向上 ・新規設備でサービスと稼働率向上(会議室で運動を可とする等) ・デジタルサインによる自主事業、団体利用の募集の情報提供 ・Wi-Fi 利用を全部屋可能とする ・図書の貸出数 11,200 冊(前年比 100.0%) 			

業務運営	事業計画書 (3) ア 管理運営に必要な管理、人員体制 ・館長1名、副館長2名、スタッフ12名（常時3名）			
	ウ 緊急時の体制と対応計画 ・避難訓練2回/年 ケアプラザと合同訓練実施 ・地域防災拠点の防災訓練への参加：1回/年			
	(4) ア 設置理念を実現する運営内容 利用者が安全で心地よいと感じる憩いの場を提供、快適に運動ができ、性別/年齢を問わずまた来たくくなるような「ご近所さん」と呼ばれる施設運営を目指す。			
	イ 利用促進策 ・高齢化に伴い活動休止や活動回数の減少サークルの支援を行い活性化するよう積極的に展開して行きます。 ・地域ニーズを踏まえつつ多彩な自主事業を企画実施、参加者による事後のサークル化を目指す。			
	・託児付講座や法人の子育てイベントの企画で地域の子育てを支援。毎週の区主催「子育て相談」も実施。 ・ニーズに応えた新着本を毎月、数冊導入。 ・料理室の料理以外使用時の利用料金の割引を継続。			
	キ 本市重要施策に対する取組み ① 情報公開（委員会、アンケート結果等の公開） ② 人権尊重（研修、バリアフリー化実施） ③ 環境への配慮（グリーン購入） ④ 男女共同参画型社会の実現（自主事業テーマとする） ⑤ 市内の中小企業優先（委託業務等の発注） ⑥ 区政運営方針の実現（読書活動の推進）			
	ク アイデア提案を募った項目（該当施設）該当なし			
	(5) 自主事業計画書 ・子育て支援事業 2講座 ・青少年健全育成事業 11講座			

	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進事業 2 講座 ・地域コミュニティの醸成事業 7 事業 ・その他 8 事業 			
	<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <p>○年間利用者数 R2 年度比 5%増 56,700 人</p> <p>○年間稼働率 R2 年度比 58.0% (前年 0.5 ポイントアップ)</p>			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3) イ 個人情報保護等の体制と研修計画 に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>■研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミーティングで情報の共有化と意思統一を図る ・各種の研修を行う中で全員のスキルアップを目指す <p>(個人情報管理、人権、救命救急法 AED、消防訓練:年 2 回、接遇、託児サポート、市・区主催の研修会への参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内部の会議(館長会議、副館長会議他)で、情報の共有化と意思統一、運営改善を推進 			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(7) イ 増収策について に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>■利用料金収入額のアップ</p> <p>利用料金収入：前年比 105%</p> <p>■自主事業参加費の適正額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金などとのバランスを考慮し費用対効果で設定 <p>■その他適正額による収入項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機手数料収入などの収入増を図る 			

	<p>ウ 支出計画の考え方について</p> <p>■コストパフォーマンスの高い事務費・管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス維持に努めつつ、経費を抑制。 ・引き続き節電、省エネに努めて経費削減を図ります。 ・年々増加する大小の修繕関係も優先順位をつけて実施 			
<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の視点に基づく目標を記載 			
<p>利用者等の意見</p>	<p>■利用者等の意見の把握方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱(館内常設)、コールセンター(市常設)、地区センター委員会(年2回)、利用者会議(年2回)、ジャンルごとの利用者会議(適時)、図書リクエスト(常設)、自主事業やイベント時のアンケート、利用者アンケート、地域アンケート(適時)により意見要望や地域ニーズを把握 	<p>意見、要望に対する対応</p>		

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組(改善計画)欄に意見等に対する対応を記載